

※官民連携まちづくりの取組と交付対象事業の両方を
位置づけて作成するケースを想定しています

ひな形

都市再生整備計画

か い し し の は ら ち く
甲斐市篠原地区

やまなし か い し
山梨県 甲斐市

令和6年4月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

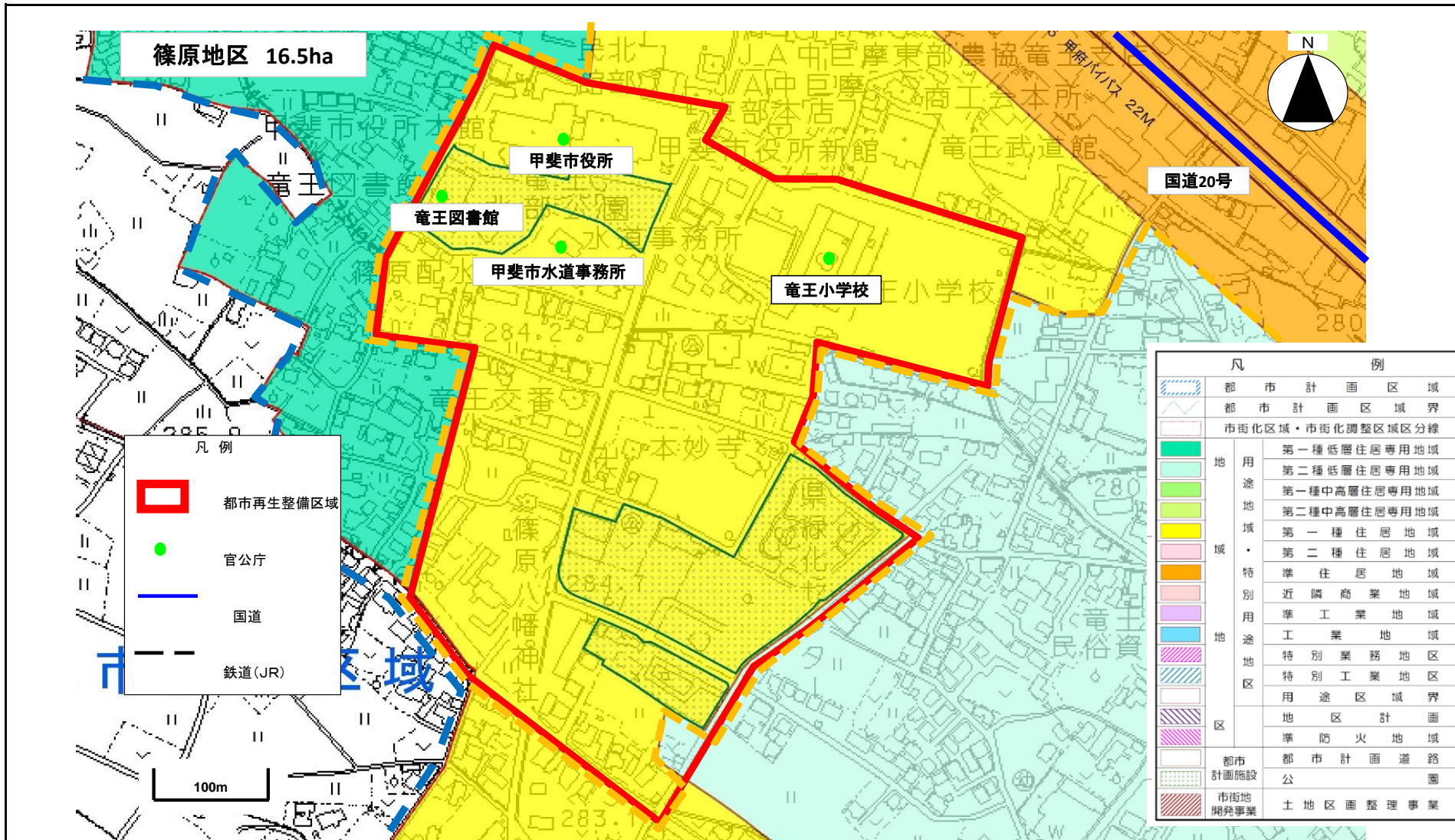
都道府県名	山梨県	市町村名	甲斐市	地区名	篠原	面積	16.5 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度				

※青字は記載例です。
また、下線部は官民連携まちづくりに関する事項を明示した箇所です。
作成にあたっての参考にしてください。

<p>目標</p> <p>大目標：既存ストックを活用した機能集約による賑わいがあふれ利便性の高い中心拠点の形成 目標1：機能集約した公園施設整備に伴う交流・賑わいの創出 目標2：歩行環境改善による歩きたくなるまちなかの形成</p>	
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市は甲府盆地の北西部に位置し、北部は豊かな森林資源と自然景観を有する中山間地域、南部は住宅地と農地が混在する平坦な市街地地域である。線引都市計画区域と非線引都市計画区域を有し、旧町の庁舎を中心に大きく分けて3つの市街地から形成されており、人口については微増ではあるが増加を続けている。しかし、本市の将来人口を推計した「甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(令和元年度改訂版)」では令和47年までに約17パーセント減少することが推計されている。また、現状の人口増加についても非線引都市計画区域である双葉地区の郊外地域に住宅が増加しており、都市のスプロール化の進行が懸念される状況である。また、モータリゼーションの進展や人口増加に伴い、商業施設や公共公益施設の郊外立地、市街地での渋滞増加など、都市機能の拡散やCO2排出量などの問題が生じ始めていた。 これらの課題解決のため、令和3年度に「甲斐市都市計画マスタープラン」の改訂を行い、竜王駅を含む竜王庁舎、篠原地区(以下、「当地区」という。)周辺を都市拠点として指定し、生活に必要な行政機能をはじめ、商業機能や交流・レクリエーション機能などの都市機能の複合的な配置・集積、既存ストックを活用した新たな交流・賑わいを創出する施設整備を図ることにより、回遊性を創出するとともに交流・コミュニティの醸成を促し、市の中心となる拠点形成を掲げている。 敷島地区・双葉地区については各市役所支所を中心に地域拠点として指定し、地域における生活や活動に必要な、行政・商業・業務機能を集積させ、地域住民の活動の中心となる役割を担う生活利便性の向上を図る拠点を形成を目指している。 令和5年度に立地適正化計画を策定し、各拠点内に都市機能誘導区域を配置し、さらなる都市機能の集積による都市のコンパクト化に伴う効率的なサービス提供を目指すと共に、これらの拠点を結ぶ公共交通網の拡充を図り、サスティナブルと利便性が両立するコンパクト・プラス・ネットワークの確立を目指している。また、これらの拠点の形成に際しては、「甲斐市公共施設等総合管理計画(令和4年2月改訂)」に即し、公共施設の適正配置や集約化、既存ストックの活用を推進するとともに、令和5年度の「脱炭素先行地域」の選定を踏まえた脱炭素化の推進、また、令和5年11月の「こどもまんなか応援サポーター宣言」に伴う、より一層の子ども・子育て支援の推進を図る。 当地区は竜王地区の都市拠点内に位置し、交通結節点である竜王駅と土地画整理事業により整備された住宅街の中間地点であり利便性が高く、また、周辺の都市計画道路の整備により自動車交通量の転換が予測されることから、歩きたくなるまちなか形成の可能性のあるエリアである。このため、機能集約した施設整備と周辺施設による、子育て世代を中心とした多世代の交流に伴うコミュニティの醸成と、道路整備及び公共交通網の拡充による、回遊性の高い歩きたくなるまちなか形成により、利便性が高く賑わいのある中心拠点の強化を図る。 これらを契機に、来訪者の増加、周辺への居住の誘導、商業店舗等の誘導を促進し、コンパクトシティの形成を図り、本市の効率的なサービス提供、地域経済の発展、持続可能な公共交通維持を目指していく。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況 本市は平成16年9月1日に旧竜王町、旧敷島町、旧双葉町の三町合併により誕生し、平成18年度に策定された「第1次甲斐市総合計画」において、「活気にあふれるまちづくり」「安全に快適に暮らせるまちづくり」を基本政策に掲げ、これを受け策定された「甲斐市都市計画マスタープラン(平成20年度)」では、竜王地区(JR竜王駅・竜王庁舎周辺)を都市拠点、敷島地区(敷島庁舎周辺)・双葉地区(塩崎駅・双葉庁舎周辺)を地域拠点と定め、JR竜王駅の駅舎改築を含む周辺整備やJR塩崎駅周辺整備、中央道双葉サービスエリアのスマートインターチェンジ開通に伴う周辺整備など、これらの拠点を中心に重点的に取組みを進めてきた。近年では、人口減少や少子高齢化、エネルギー問題などの社会情勢の変化に対応するため、令和元年度に「第2次甲斐市総合計画」、令和3年度に「甲斐市都市計画マスタープラン」の改訂を行い、コンパクト・プラス・ネットワークや脱炭素化のさらなる推進に取り組んでいる。また、こうしたまちづくりと並行して、「甲斐市国土強靱化地域計画」や「甲斐市地域防災計画」を策定し、防災公園の整備など、安全なまちづくりについても取り組んでいる。 さらに近年の激甚化・頻発化する災害発生状況を踏まえ、より安全なまちづくりの推進とさらなる集約型都市構造推進のため、令和5年度に策定した「甲斐市立地適正化計画」において、防災指針を示し、各拠点に都市機能誘導区域を定め、行政機能や文化機能、医療機能、商業機能などの誘導・集約化を図り、安心・安全なコンパクトシティの形成を目指している。また、「こどもまんなか応援サポーター宣言」や「甲斐市版ネボラ事業」により出産・子育て支援にも力を入れており、子育て支援機能の再編・拡充や安心して子育てができるまちづくりに取り組んでいる。 JR竜王駅周辺については平成16年度から駅舎を含む周辺整備に取組み、南北ロータリーや連絡通路、周辺の道路整備に取組み、良好な街並みや良質な歩行環境が確保されている。しかし、当地区については歩道未設置道路や側溝が開渠となっている道路が多く存在し、安全性やまちなかの回遊性の低下により良好な街並や中心拠点としての賑わい創出への足枷となっている状況である。 賑わいのある中心拠点の形成に向け、旧山梨県緑化センター跡地を活用し整備を進めている都市公園内に賑わいの核となる体験学習施設を整備するとともに、区域内の道路を拡幅し歩道を整備することにより良質な歩行環境を確保した回遊性の高い歩きたくなるまちなか形成を行い、賑わいのある中心拠点の形成と併せ公共交通網の拡充による拠点間及び拠点外からのアクセシビリティ向上を目指している。</p> <p>課題 ・市全体の人口は増加しているが、竜王地区では減少となっており、郊外部の住宅建築増加に伴うスプロール化の進行が懸念されている。 ・当地区は市役所や小学校・図書館などの公共施設が集積し周辺には民間の温泉施設や農産物販売所が立地しており、多様な世代が利活用する機能が集積しているが、核となる「人が集い交流し賑わいを創出する機能」が不足している。</p> <p>将来ビジョン(中長期) ①第2次甲斐市総合計画後期基本計画(2020-2024)(令和元年度策定) 「まちづくりは人づくり生涯にわたる学びのまち」 ・人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり 「美しい景観と快適で安全な都市機能を築くまち」 ・良好な景観と市街地の形成 ・快適な住環境の整備 ・道路、交通環境の整備 ・安心安全なまちづくりの推進</p> ②甲斐市都市計画マスタープラン(2023-2030)(令和3年度改訂) 都市づくりのテーマ「人がつくり人がつどう活気あふれるサスティナブルな生活快適都市・甲斐」 目標：1.日常生活の中で豊かな自然環境が感じられるまちづくり 2.相互に助け合い、賑わいと活力のあるまちづくり 3.誰もが住み良さと安らぎを感じるまちづくり 4.未来へ引き継ぐまちづくり ③甲斐市緑の基本計画(2009-2028) 基本理念：森・里・まちの緑を愛して心豊かに ~ガーデンシティ・甲斐をめざして~ 目標：1.ふるさとの緑を保全・継承します 2.いきいきとした市民活動を育む緑を整備します 3.甲斐市の魅力を高め、安全・快適な生活を支える緑を育てます 4.市民・企業・行政の共同による緑のまちづくりのしくみを整えます	

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【機能集約した公園施設整備に伴う交流・賑わいの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代が交流しコミュニティが醸成する公園施設(体験学習施設)の整備 ・公園施設の利便性向上に向けた接続道路の整備 	<p>【基幹事業】(公園) 体験学習施設整備 【基幹事業】(道路) 市道緑化センター八幡前線道路改良</p>
<p>【歩行環境改善による歩きたくなるまちなかの形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供をはじめ市民や来訪者が安心・安全に利用できる歩行空間の整備 ・良質な歩行空間による回遊性の向上 	<p>【基幹事業】(道路)市道塔之元八幡前線道路改良 【基幹事業】(道路)市道竜王田中線道路改良 【基幹事業】(道路)市道竜小道路線道路改良</p>
その他	

篠原地区(山梨県甲斐市)	面積	16.5 ha	区域	甲斐市篠原の一部
--------------	----	---------	----	----------



篠原地区(山梨県甲斐市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 既存ストックを活用した機能集約による賑わいがあふれ利便性の高い中心拠点の形成 目標1: 機能集約した公園施設整備に伴う交流・賑わいの創出 目標2: 歩行環境改善による歩きたくなるまちなかの形成	代表的な指標	体験学習施設の利用者数 (人/年)	0 (R5年度)	→	50,000 (令和8年度)
			市民バスの利用者数 (人/年)	22,021 (R4年度)	→	24,223 (令和8年度)
			0	0	→	0
			0	0	→	0
			0	0	→	0

